

令和4年10月5日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム

「デジタル技術が切り開く地域文化財の未来」 開催のお知らせ

熊本大学では、大学が保有する五高記念館等重要文化財を中心とした歴史的・文化的価値のある建造物や研究資源を活用し、キャンパスの広域をミュージアム化する「キャンパスミュージアム構想」を掲げています。

近年、最新のデジタル技術を用いた文化財の記録や修復が盛んに行われており、本学におけるキャンパスミュージアム構想においても、こうした技術の導入により学内所蔵の重要文化財や学術資料のデジタルアーカイブ化によって、これらを広く公開していくことを計画しています。本シンポジウムを事業推進に向けた事前学習会と位置付け、県内外の調査現場での実践報告からデジタル技術が切り開く文化財の未来を語り、その可能性について展望します。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

記

【日時】令和4年10月15日（土）13：30～16：00（13:00 開場）

【場所】熊本大学工学部百周年記念館（熊本市中央区黒髪2丁目39番1号）

【対象】一般の方（興味がある方はどなたでも）

【参加費】無料

【申込方法】下記 URL またはチラシに記載の QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/cKJFxzKSArxygvwQ6>

[申込締切] 令和4年10月7日（金）

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/sangakurenkei/chiikirenkei/news/9ckz7h

【お問い合わせ先】

熊本大学 研究・社会連携部 社会共創推進課

TEL：096-342-2047



写真：熊本大学五高記念館所蔵 撮影：星野雅俊



Campus Museum

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム

デジタル技術が切り開く 地域文化財の未来

SYMPOSIUM

2022

10/15 土

13:30-16:00

(13:00 開場)

参加
無料

場所 熊本大学工学部百周年記念館
(黒髪南地区)



同時
開催

会場には五高記念館等を
中心とした写真を展示します



井寺古墳(嘉島町)

どなたでも参加していただけますが、事前申込が必要です。



登録サイト



上鞍掛塚A古墳(阿蘇市)



□主催 熊本大学キャンパスミュージアム推進室 □共催 熊本大学五高記念館

□問い合わせ先 熊本大学キャンパスミュージアム推進室 Tel: 096-342-2864 Mail: museum@kumamoto-u.ac.jp
(社会共創推進課 Tel: 096-342-2047)

熊本大学キャンパスミュージアムシンポジウム 2022
SYMPOSIUM 10/15 土

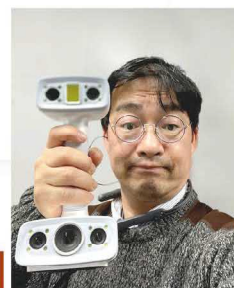
デジタル技術が切り開く 地域文化財の未来

Campus Museum

近年、最新のデジタル技術を用いた文化財の記録や修復が盛んに行われています。本学のキャンパスミュージアム構想においても、こうした技術の導入により学内所蔵の重要文化財や学術資料のデジタルアーカイブ化によって、これらを広く公開していくことを計画しています。本シンポジウムを事業推進に向けた事前学習会と位置付け、県内外の調査現場での実践報告からデジタル技術が切り開く文化財の未来を語り、その可能性について展望します。

Program

- 13:00 ● 開場
 - 13:30 ● 開会挨拶 小川久雄 (熊本大学長)
 - 13:35 ● 趣旨説明 小畑弘己 (キャンパスミュージアム担当副学長・人文社会科学研究部 教授)
 - 13:40 ● 基調講演
「文化財記録の来し方と行く末 2022 ―変化する／しない考えと技術―」
金田明大 氏 (独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長)
 - 14:20 ● 講演①
「三次元計測が担う被災文化財復旧への役割」
橋口剛士 氏 (嘉島町教育委員会 社会教育課 技師)
 - 14:45 ● 講演②
「デジタル技術による文化財位置情報の取得と利活用」
宮本利邦 氏 (阿蘇市教育委員会 教育部教育課 社会教育係 主任)
 - 休憩
 - 15:20 ● パネルディスカッション
「文化財のデジタル化時代における大学博物館の役割」
パネリスト 金田明大 氏、橋口剛士 氏、宮本利邦 氏
コーディネーター 小畑弘己
 - 15:55 ● 閉会挨拶 宮尾千加子 (熊本大学理事)
- 司会 新里亮人 (キャンパスミュージアム推進室・埋蔵文化財調査センター 助教)



基調講演講師

Akihiro KANEDA

金田明大 氏

古代の日本について、土器・陶磁器を中心とした研究と、三次元計測、遺跡探査など実用的な技術の考古学研究・調査への応用を進めています。



場所 熊本大学工学部百周年記念館
(黒髪南地区)

※公共交通機関をご利用ください。

参加
無料

登録申込み

下記URLまたは、QRコードよりお申込みください。
<https://forms.gle/cKJFxzKSArxygvwQ6>

登録サイトへ



登録サイト

申込み締切 10月7日(金)

事前参加登録が
必要です!



熊本大学キャンパスミュージアム推進室
熊本市中央区黒髪2丁目40番1号(黒髪北地区)
Tel : 096-342-2864 Mail : museum@kumamoto-u.ac.jp
(社会共創推進課 Tel : 096-342-2047)
<https://museum.kumamoto-u.ac.jp> (10月上旬公開予定)



キャンパスミュージアムHP
(10月上旬公開予定)